省スペースリモートI／O変換器 ***R8*** シリーズ

# 取扱説明書

非絶縁４点
## 直流電圧入力カード

形 式
R8Y−SVZH4N

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

**■梱包内容を確認して下さい**

・直流電圧入力カード .....1台

**■形式を確認して下さい**

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

**■取扱説明書の記載内容について**

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

**●EU 指令適合品としてご使用の場合**

・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内の DIN レールに設置して下さい。
・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策（例：電源、入出力にノイズフィルタ、クランプフィルタの設置など）は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

**●取扱いについて**

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。
・本体側面のディップスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

**●設置について**

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -10 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

**●配線について**

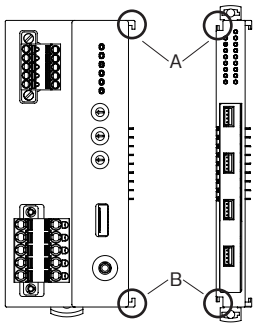
・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

**●その他**

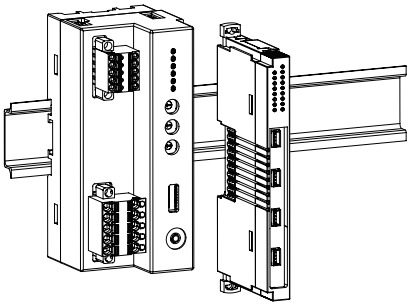
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

## 取付方法

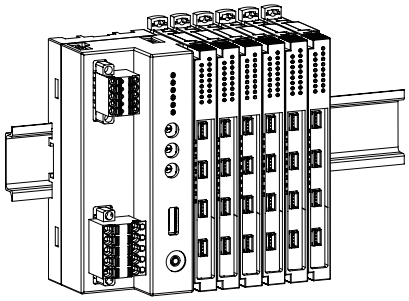
●入出力カード



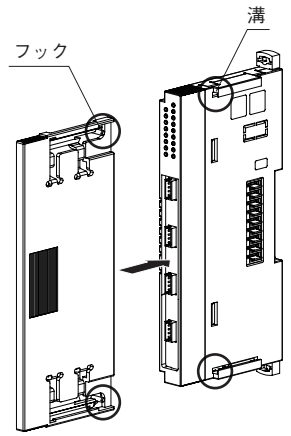

・入出力カードのスライダが閉じていることを確認し、
各カード（ユニット）の凹凸（図のA、B）を合わすように、
DINレールに対して垂直にまっすぐ差込みます。



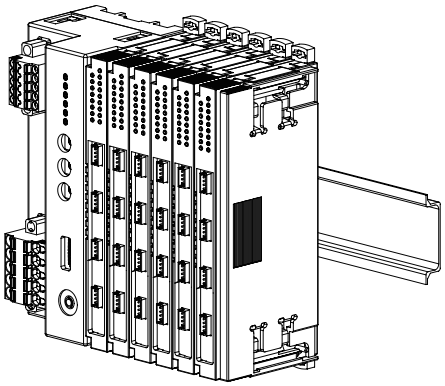
・入出力カードを追加する場合も同じようにして下さい。



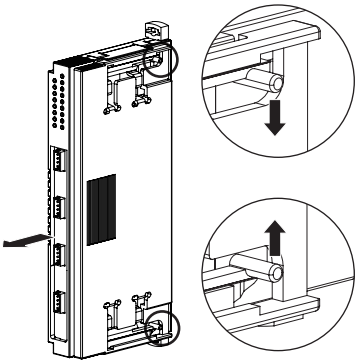
●エンドカバー




・接続した一番右端の入出力カードに、エンドカバーを装着します。
・カバー側のフックと入出力カード側の溝を合わせ、止まる位置までまっすぐ挿入します。

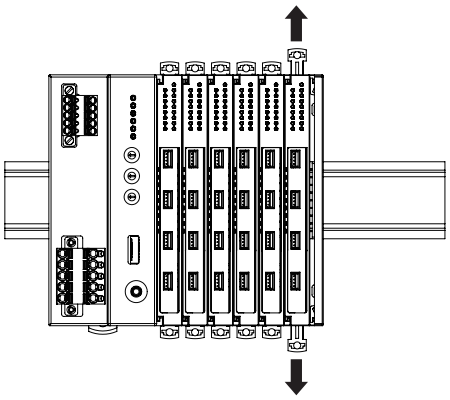


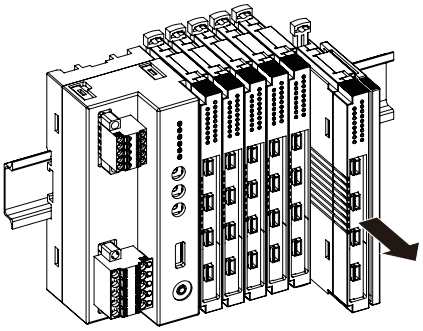
・取外す場合は、カバー側フックを内側に押しながら引抜きます。



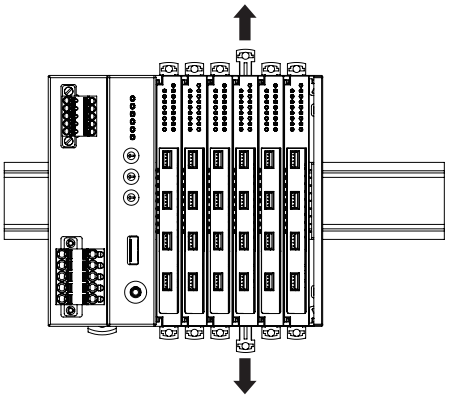
■取外方法

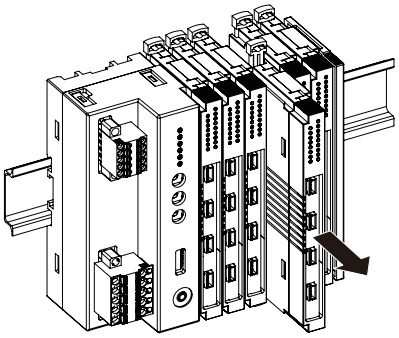
・取外したい入出力カードのスライダを外側へずらし、ロックを外した状態で手前にまっすぐ引抜きます。





・中間の入出力カードを取外す場合

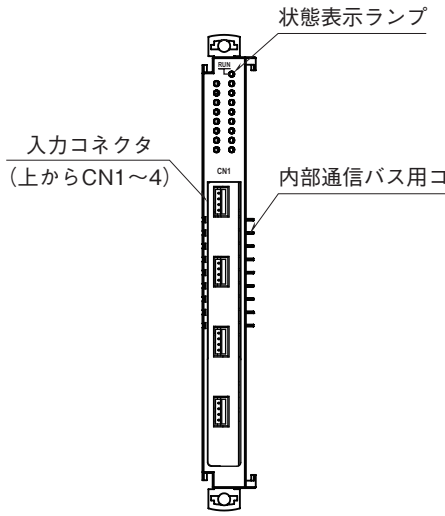




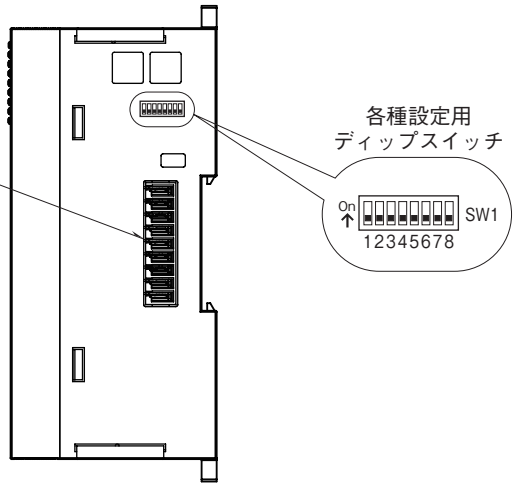
注1）内部通信バス用コネクタは先端がとがっているので、怪我をしないように注意して下さい。
注2）入出力カードのみの設置時は、入出力カードが横に動きやすい状態になります。落下等の恐れがある場合、エンドプレートを設置するようにして下さい。

# 各部の名称

■前面図




■側面図




**■表示ランプ**

| 名　称 | ランプ動作 | 機器動作 |
|---|---|---|
| 状態表示ランプ | 消灯 | 停止中 |
| | 緑色点灯 | 上位との通信が有効 |
| | 赤色点灯 | 設定エラー |

**■入力コネクタ端子配列**

・ZH コネクタ

本体側コネクタ：S4B-ZR（日本圧着端子製造製）

推奨ソケット：ZHR-4（日本圧着端子製造製）

推奨コンタクト：SZH-002T-P0.5（日本圧着端子製造製）

適 合 電 線：AWG28 ～ 26

（ソケットおよびコンタクトは本器に付属しません。詳細はメーカカタログをご参照下さい）




| ピン番号 | 信号名 | 機　能 |
|---|---|---|
| 4 | ＋ | 入力(＋) |
| 3 | － | 入力(－) |
| 2 | NC | 未使用 |
| 1 | NC | 未使用 |

**■カードアドレス設定**

カードアドレスは 10 の桁を SW1-1、2 で、1 の桁を SW1-3、4、5、6 で設定します。カードアドレスは 0 ～ 30 まで使用可能です。（工場出荷時は 0）

| カードアドレス | SW1 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | × 10 | | | 1 | 2 |
| | × 1 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 0 | | OFF | OFF | OFF | OFF |
| 1 | | OFF | OFF | OFF | ON |
| 2 | | OFF | OFF | ON | OFF |
| 3 | | OFF | OFF | ON | ON |
| 4 | | OFF | ON | OFF | OFF |
| 5 | | OFF | ON | OFF | ON |
| 6 | | OFF | ON | ON | OFF |
| 7 | | OFF | ON | ON | ON |
| 8 | | ON | OFF | OFF | OFF |
| 9 | | ON | OFF | OFF | ON |

**■動作モード設定**

（＊）は工場出荷時の設定

**●終端抵抗設定**

| 終端抵抗 | SW1-8 |
|---|---|
| 無効(＊) | OFF |
| 有効 | ON |

注）SW1-7 は未使用のため必ず“OFF”にして下さい。

# コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。
コンフィギュレータソフトウェア（形式：R8CFG）の使用方法については、R8CFG の取扱説明書をご覧下さい。

**■チャネル個別設定**

| 項　目 | 設定範囲 | 初期値 |
|---|---|---|
| 入力レンジ | -10～+10 V DC | -10～+10 V DC |
| ゼロ入力値 | -10.00～+10.00（V） | -10.00（V） |
| スパン入力値 | -10.00～+10.00（V） | 10.00（V） |
| ゼロ微調整 | -320.00～+320.00（%） | 0.00（%） |
| ゲイン微調整 | -3.2000～+3.2000 | 1.0000 |
| ゼロスケーリング値 | -32000～+32000 | 0 |
| フルスケーリング値 | -32000～+32000 | 10000 |

**■チャネル一括設定**

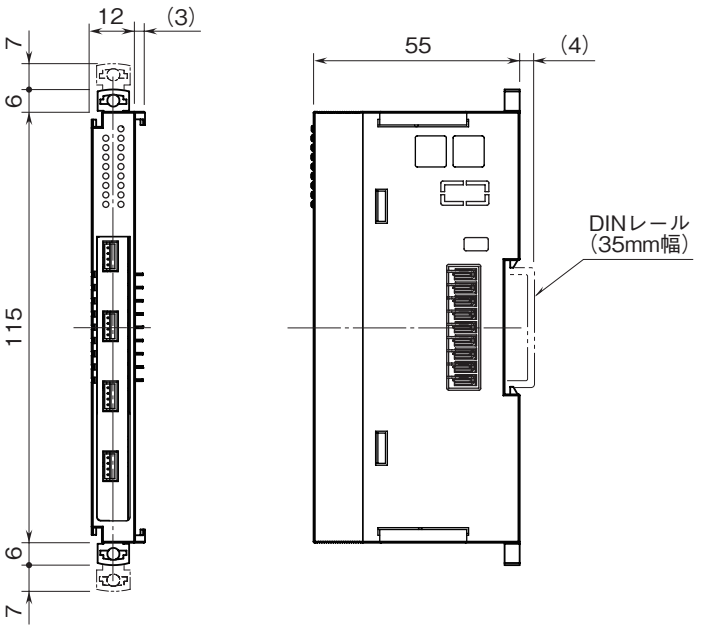
| 項　目 | 設定範囲 | 初期値 |
|---|---|---|
| 内部通信バス通信断検出時間 | 0.0～99.9（sec） | 1.0（sec） |

注）コンフィギュレータ設定は、電源通信ユニットより行います。

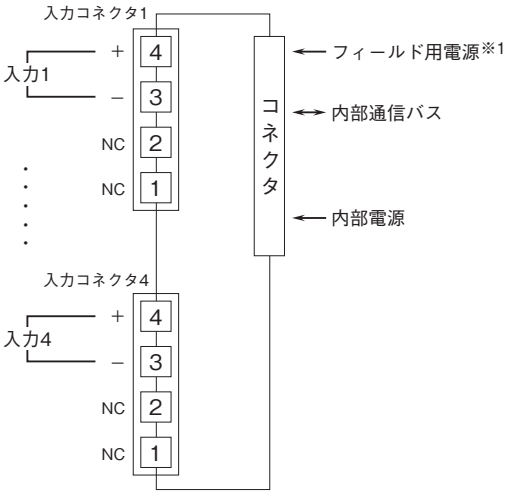
# 接　続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

## 外形寸法図（単位：mm）



端子接続図




※1、フィールド用電源は使用しません。

# 保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。